

ピアカウンセリングセミナー開催

プロジェクトでは、就労を目指す障害者や社会参加に向けたエンパワメントが必要な障害者を対象に、ピアカウンセリングを広めてきました。ピアカウンセリングに関連した活動は、プロジェクト開始以前の2014年より、ヨルダンに暮らすシリア難民障害者に対する心理サポートとしてJICAが実施しており、プロジェクトはその知見を引き継ぎ拡大してきました。2020年1月のプロジェクト終了をもってJICAの直接支援は終了となるため、現在は、これまでの知見をヨルダンに根付かせるための活動に移行しています。その一つとして、国際機関やNGOを対象にピアカウンセリングを紹介する表記セミナーを開催しました。プロジェクト実施機関の労働省に加え、障害問題の政策決定機関である障害者問題高等評議会やピアカウンセリングを実施しているNGOからも登壇者を迎え、草の根レベルでのカウンセリング活動から政府機関の方針まで幅広い情報を提供しました。参加者からは自身の団体の活動にピアカウンセリングを取り入れていく事に対する積極的なコメントが寄せられました。



自身について語るピアカウンセラー



カウンセリングを体験する参加者

ピアカウンセリングリーダー研修事前講習会

障害者平等評議会からのリクエストを受け、6名のヨルダン人障害者にピアカウンセリングのリーダー研修を実施することになりました。リーダー研修に参加したピアカウンセラーは、通常のカウンセリングに加え、ピアカウンセラーを養成できるようになります。10月の研修に先立ち2日間の事前講習会を実施し、ピアカウンセリング研修の核となる項目に関する理解を深めました。



講習会風景

終了時評価に向けたフィールド調査

プロジェクトの成果確認を目的に、ジョブコーチ研修に参加した団体や企業の訪問を開始します。現場の生の声を聞き、成果に加え今後の課題も明らかにしたいと思います。